

鉄様硬の腫大した甲状腺を有し IgG4 が 高値を示した橋本病の 1 例

の 野 津 和 巳¹⁾ なか 仲 田 典 子¹⁾²⁾ い 伊 藤 和 行³⁾
 かわ 川 北 恵 美¹⁾⁴⁾ こ 小 林 茉莉子¹⁾⁴⁾ の 野 津 雅 和⁴⁾
 やま 山 本 昌 弘⁴⁾ かな 金 崎 啓 造⁴⁾

キーワード：IgG4 関連疾患，橋本病，リーデル甲状腺炎

要 旨

極めて硬く，腫大した甲状腺を有する症例を経験した。40代の女性で，主訴は甲状腺腫大の精査加療。腫大した甲状腺の手術適応について当クリニックを紹介され受診した。抗甲状腺抗体強陽性で橋本病と診断した。画像検査で腫瘍は認めなかった。甲状腺超音波での著明な低エコー領域と鉄様硬の所見から，IgG4 を測定し，高値であることを確認した。IgG4 関連疾患が注目されているが，甲状腺疾患も例外ではなく，橋本病の一部に IgG4 高値例が認められている。全身性の線維化病変などは認めず，甲状腺限局型と考えられる症例であり報告する。

はじめに

IgG4 関連疾患という疾患群があることが提唱されて久しい¹⁻³⁾。特に自己免疫性膵炎，耳鼻科領域におけるミクリッツ病などが代表的疾患とされている。甲状腺領域では，内部およびその周辺に線維化が進行して，橋本病とはその所見・臨床像が異なると考えられているリーデル甲状腺炎が，

IgG4 関連疾患に該当する可能性を指摘されている⁴⁻⁵⁾。今回，鉄様硬の甲状腺腫大を呈し，IgG4 の上昇を認めた橋本病の 1 例を報告し，その10年後の経過についても言及する。

症 例

症例は40代，女性。主訴は甲状腺腫大の精査加療。家族に甲状腺疾患はない。自己免疫性膵炎などもない。既往歴に特記すべきものはない。現病歴は，数年前から甲状腺腫大あり。近医で甲状腺ホルモン剤による内服治療を受けていた。腫大の程度が強く，また異常に硬く（鉄様硬），悪性疾患を懸念され，手術目的で総合病院を紹介された。

Kazumi NOTSU et al.

1) 大学前のつ内科クリニック

2) 松江生協病院内科

3) 松江赤十字病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

4) 島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科

連絡先：〒690-0825 松江市学園2丁目27-17

大学前のつ内科クリニック